

# 湖風会報



滋賀県立大学同窓会  
湖風会

滋賀県立大学同窓会報 第七号

## 湖風会会長挨拶

2期目に就任して

会長 矢吹 安子

(昭42 家政部卒)



令和元年6月15日(土)、隔年に通常総会が開催され、第3代目2期目の同窓会「湖風会」会長にご承認頂きました。

1代目種橋会長、2代目岡田会長をはじめ役員・評議員の皆さまのご尽力のおかげで、滋賀県立大学同窓会「湖風会」は、設立して13年目を迎えました。短期大学・県立大学の卒業生が巣立ち、約2万8,500名の大組織になりました。

地域に根ざした伝統ある私たちの「湖風会」は、少子高齢化が進み、大学間の競争も激しくなるなか、本学もさらに魅力ある大学へと改革の舵を切っています。そのため、学生募集、学生支援、就職支援、交流支援等、ますます重要になってまいります。本学と密接に連携し、本学の魅力を多

方面へ発信しながら、誇れる大学づくりのお役に立ちたいと願っています。

平成29・30年度3月には、滋賀県立大学交流センターにおいて学位記授与式が挙行され、同窓会「湖風会」会長として出席いたしました。真新しいスーツに身を包み、凛とした表情の皆さんや華やかな袴姿の女子学生達。様々な国の民族衣装も目に留まりました。「国際通用性のある知と実践力をそなえた人が育つ大学」をめざす本学が力を入れている国際交流・留学への取組が実を結んでいると実感する式典でした。

また、平成30・31年度4月には、彦根市文化プラザにおいて入学式が行われ私も参列いたしました。グラウンドホールに新入生と保護者・その関係者の皆さままでいっぱいになりました。新しい学生生活への夢と不安が交差する厳粛な雰囲気の中で、同窓会「湖風会」として、大学とは、年に1回学長をはじめ教授・職員の方々と現在の大学の近況と課題に

ついて意見交換を行っております。その後の懇親会では、皆さんと膝を突き合わせ、細やかな会話の中から一層大学の内情を伺うことが出来ま

す。また、工学部同窓会では、大学支援活動として教授・学生がともに企業訪問を毎年実施されています。

そして、同窓会「湖風会」は、平成30年度にはクラス会28件、同好会3件が開催され、お酒を酌み交わしたり、ハイキングや小旅行に出かけたりされています。また、思い出話に花が咲き、明るい笑い声が響きます。

今後、同窓会活動の在り方、大学との連携を含めた議論を展開していかねばと考えております。大学・学生・同窓生の皆さんとより密接に連携し、その輪が大きく広がっていく一助にと願っております。そのためにも皆さんのご意見や要望を伺いながら、少しずつ改善し、今後に脈々と受け継がれる滋賀県立大学同窓会「湖風会」を目ざしてまいります。皆さまの一層のご指導、ご鞭撻、そ

してご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 滋賀県立大学学長挨拶

理事長・学長 廣川 能嗣



湖風会の皆様には、日頃より大学の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申

し上げます。

さて、昨年度から向こう6年間の第3期中期計画が始まりました。また、世界共通の開発目標であるSDGs達成に向け、昨年度、滋賀県立大学SDGs宣言<sup>1</sup>を行い、地域の拠点化を目指し取組を進めています。そこで、この場をお借りし、新しい令和の時代を迎えて、本学が進めようとしている計画についてお話ししたいと思います。

この中期計画は、滋賀県立大学将来構想の「USP 2025ビジョン」に基づき、「地域貢献大学のリーディングモデル」と「国際通用性のあ

る知と実践力をそなえた人が育つ大学」を目指した、5本の大きな柱で構成されたプランです。

第1の柱の「教育」では、世界を視野に地域で活躍する人材育成を進めます。また、第2の柱である「研究」では、琵琶湖モデル構築、健康寿命延伸、地域課題解決の3つを戦略的な課題と位置付け、持続可能な社会の実現に寄与する研究を推進します。第3の柱の「地域貢献」は、これからの人口減少社会を見据えて地域人材育成や生涯教育拠点の機能強化を進めるとともに、学生のさらなる地元定着に取り組みます。

第4の柱は「ブランド力の向上」です。広報を戦略的に進め、本学の認知度をもっと高めて、滋賀県大ブランドの確立を目指します。これには、車の両輪である同窓会と大学との連携が必須と考えますが、素晴らしい援軍が現れました。それは、卒業生と在学生とがコラボして、ミュージックビデオ「カモベイバー」を作ってくれたことです。若者目線で、ユーモラスに本学の素晴らしさを紹介しています。ぜひ、ご覧頂きたいと思います。第5の柱は「戦略的経営」です。これからの社会の変化に対応するために、柔軟な教育研究組織へ変革するとともに、データに基づいた戦略的な大学経営を推進します。

令和2年度は本学開学25周年を迎

えますが、これからも「地域に根差し、地域に学び、地域に貢献する」大学として、次の四半世紀の飛躍を目指し、これからも、卒業生の皆さんや地域の方々を始め、学生や教職員など、関係者全員が誇りとする大学づくりを進めていきます。今後とも湖風会の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

**通常総会開催結果**

令和元年度の湖風会通常総会が開催されました。

総会結果の概要は以下のとおりです。  
日時 令和元年6月15日13時30分  
場所 湖風会館 A7-102教室  
出席者

会員87名 委任状44名 計532名  
来賓 滋賀県立大学理事長・学長

廣川 能嗣様

同 学生・就職支援G課長

澤村 治男様

司会 阿閉 順子氏

議長 安田佐登志氏

**議案審議**

議案第1号 平成29・30年度事業報告  
議案第2号 平成29・30年度収支

決算書・監査報告

議案第3号 令和元年度役員改選

議案第4号 令和元年度活動計画

議案第5号 令和元年度収支予算

矢吹会長の挨拶に続き、廣川理事

長・学長から祝辞をいただいた後、案審議に入りました。各議案については、担当役員から提案説明の後、各々拍手により承認され、再任の矢吹会長からの挨拶と続きました。

また総会終了後、本学地域文化学科中井均教授に「近江の山城を探る」の演題で特別講演をお願いしました。その後、人間看護学部棟ナシエリアで懇親会が和やかに開催されました。

**委員会の活動報告**

**総務委員会**

湖風会の執行機関として「役員会」があり、当会の活動計画や予算・決算、大学との連携活動、会則に付帯する細則や規程などを審議しています。

当委員会は、役員会の運営を効果的に行い積極的な活動を展開するために設置され、会長および学部同窓会の代表、会計の7名、事務局担当者で構成しています。

役員会への提出案件や当会の運営についての課題などの事前協議、また専門委員会や各学部・支部の情報収集や連携強化策などを中心に協議しています。

当委員会の役割は、事務局運営の円滑化と組織の縦軸・横軸をつなぐ総合調整機能を果たすことと考えています。

今後とも、会員の皆さんからのご



提案やご意見等を踏まえながら当会の円滑な運営に努めてまいりますの

表1 会計報告

I 一般会計

(単位:円)

II 「湖風会」

(旧単位同窓会寄付金)特別会計

(平成29・30年度)

(単位:円)

平成29・30年度 収支決算		
収入の部		
収入科目	平成29年度決算額	平成30年度決算額
会費収入	6,520,000	5,980,000
雑収入	84,685	64,999
収入の部小計	6,604,685	6,044,999
前年度繰越金	11,322,840	10,055,815
収入の部合計	17,927,525	16,100,814
支出の部		
支出科目	平成29年度決算額	平成30年度決算額
一般経費	1,296,946	1,069,582
設備費	272,160	259,200
事務管理費	1,790,477	1,785,528
委員会活動費	2,849,263	77,020
支部活動費	782,940	722,880
活動助成金	310,000	310,000
会館維持管理費	319,924	287,592
会館修繕積立金	200,000	200,000
その他	50,000	206,118
支出の部小計	7,871,710	4,917,920
次年度繰越金	10,055,815	11,182,894
支出の部合計	17,927,525	16,100,814

令和元年度 収支予算	
収入の部	
収入科目	令和元年度予算額
会費収入	6,520,000
雑収入・繰入金	1,250,195
収入の部小計	7,770,195
前年度繰越金	11,182,894
収入の部合計	18,953,089
支出の部	
支出科目	令和元年度予算額
一般経費	1,290,000
設備費	250,000
事務管理費	1,840,000
委員会活動費	2,750,000
支部活動費	758,000
活動助成金	400,000
会館維持管理費	400,000
その他	200,000
支出の部小計	7,888,000
次年度繰越金	11,065,089
支出の部合計	18,953,089

科目	収入	残金
前年度繰越金		
特別会計分	10,000,000	10,000,000
会館建設費残金	7,902,262	17,902,262
利息	136	17,902,398
合計	17,902,398	17,902,398

III 湖風会館修繕積立金会計

(平成29・30年度)

(単位:円)

科目	収入	残金
前年度繰越金	800,177	800,177
積立金	400,000	1,200,177
利息	18	1,200,195
合計	1,200,195	1,200,195

表2 令和元年度 役員改選 就任者

所属学部支部	役員名(卒業年) ◎会長 ○副会長 △地域・学部支部長					
環境科学部	△日置靖男(S42) 伊垣剛(H6)	大川俊一(S43) ○小林匡哉(H17)	○植田儀一郎(S45) 岸本希実洋(H21)	△寺脇文子(S45) 柳沼勇多(H23)	△田中靖志(S49)	松井傳夫(S55)
工学部	○△松下恭明(S40)	長谷正勝(S40)	大森哲夫(S41)	中村正豊(S51)		
人間文化学部	◎矢吹安子(S42)	辻ひとみ(S42)	早川幸代(H1)	阿閉順子(H8)	○戸田雄一(H14)	邊見将史(H22)
人間看護学部	○中川富美江(S48)	田中郁子(S50)	五坪千恵子(S53)	古川光子(S54)	川合小百合(S57)	馬場文(H22)
監事	高瀬藤一郎(農業S39) 安部八重子(家政S43)					
	(事務局員 竹内順子 中村あや子)					

で、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(昭45 農業部卒 植田儀一郎)

名簿管理委員会

生涯メールサービス

平成29年卒業生から生涯メールサービスを導入し、アドレスの管理を開始しました。

会員(すでに卒業した同窓生)の皆さんに生涯メールサービス加入募集を行うも加入者は少なく残念ですが、いつでも加入できますのでご加入下さい。

現在、約2,000名の加入者がおられます。その方々に定期配信として、役員会報告「湖風会便り」を配信しています。

就職内定企業名の管理

県立大学の卒業生の就職企業の年度別人数をまとめ、その活用を検討しています。

連絡先(住所)不明者の減少

現在、全会員の約17%の不明者4,500余名がおられます。

12%を目標に対策を検討し、実施しています。

2021年版「会員名簿」

5年に1度の会員名簿の発行を予定しています。

準備作業に際しては、会員皆様のご理解とご協力をお願い致します。

(昭40 工業部卒 松下恭明)

表3 平成30年度卒業・修了者の就職状況

(令和元年6月1日現在)

学部・研究科	希望者	内定者	内定率(%)
環境科学部	137	135	98.5
工学部	68	68	100
人間文化学部	175	173	98.9
人間看護学部	71	70	98.6
合計	451	446	98.9
環境科学研究科博士前期課程	29	26	89.7
工学部研究科博士前期課程	59	59	100
人間文化科学研究科博士前期課程	2	2	100
人間看護学研究科人間看護学専攻	1	1	100
合計	91	88	96.7
総計	542	534	98.5

就職支援委員会

平成30年度学部卒業生の内定率は98・9%となり昨年度と比べて0・2ポイント向上しています。また、厚労省・文科省が公表している全国の大学の内定率が97・6%なので、それより高い内定率です。(表3)

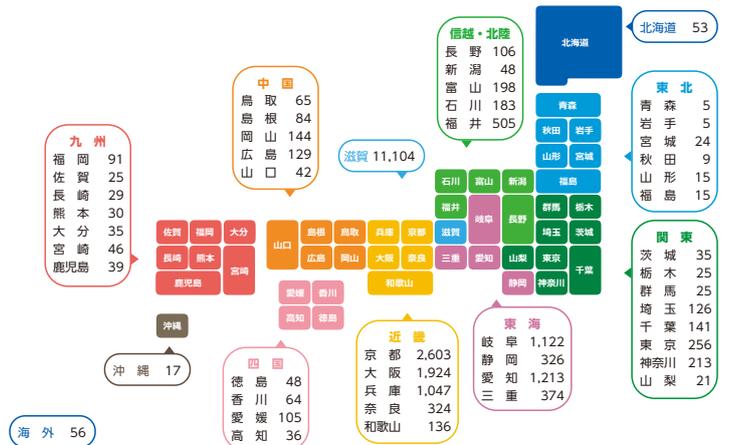
大学では、学生支援室での個別相談、就職セミナーやインターンシップ(就業体験)、公務員試験対策講座の実施の他、業界・企業の研究会、病院合同説明会の開催など、学生のより良い就職に向けて、様々な取組をされています。また、就職支援委員会では、大学や学部支部と連携しながら支援を行っています。

同窓会員の住所分布状況 (令和元年9月末現在)

(単位:人)

学部支部	環境科学部	工学部	人間文化学部	人間看護学部	合計
北海道	30	4	16	3	53
東北	26	9	34	4	73
関越・北陸	223	143	434	42	842
信越・北陸	306	147	492	95	1,040
東海	917	719	1,185	214	3,035
滋賀	3,292	2,341	4,476	995	11,104
近畿(除滋賀)	2,184	1,486	1,936	428	6,034
中国	177	60	187	40	464
四国	92	17	127	17	253
九州・沖縄	156	36	100	20	312
海外	18	12	23	3	56
住所不明者	1,363	982	1,161	409	3,915
計	8,784	5,956	10,171	2,270	27,181
物故者	476	466	344	14	1,300

	短期大学	県立大学	計
会員数	16,130	11,051	27,181
没故者数	1,291	9	1,300



〈就職支援委員会からのお願い〉

この紙面を借りて皆様にお願ひです。平成30年度卒業生の県内就職率は27・6%と低く、大学側の目標は38%と聞いています。皆様のご勤務先などで、求人を出していただけるようでしたら、滋賀県立大学事務局 学生・就職支援課までご連絡をよろしくお願ひいたします。

(平6 農業部卒 伊垣剛)

広報委員会

広報委員会は2年に1度の「湖風会報」の発行と都度更新の「ホームページ(H.P)」を使って、湖風会員の皆さんに「湖風会や会員、更には県立大学」に関わる情報をお伝えしています。今会報は第七号に成りますが、第一号から号を重ねる度に大学卒業新会員が増え、住所不明者が少しずつ減少し、結果、1万5千通から始まったものが、2万3千通にまで成ろうとしています。このように大きく成った「湖風会」組織の情報発信を司

る当委員会として、重責感を持って任に当たらなければと思っています。会報は2年に1度、限られた紙面ではありますが全会員に届く利点。HPはパソコンを持ちインターネット接続をしている人だけですが、何時でも広く細部まで見られる利点。この2つの手段を活用して、「湖風会」への関心を高め、輪を広げ、充実した組織作りに貢献出来れば幸いです。

(昭41 工業部卒 大森哲夫)

湖風会館管理委員会

平素は湖風会館をご利用頂き有難うございます。

今後は会員の皆様により多くご利用頂くと共に同窓会の歴史資料等を展示閲覧出来る様にしたいと考えています。

会員の皆様のご意見ご要望等々が有りましたら事務局迄お寄せ下さい。検討の上、順次実行出来る事から進めたいと考えています。

湖風会館が完成して6年あまりになりますがこの間、役員会をはじめ湖風祭など会員の皆様や大学関係者による会館利用状況は左記の通りです。

- 湖風会館の利用状況
- 平成29年度 98回
- 平成30年度 91回
- 会館のご利用申込の様式はホームページにてご確認下さい。

(昭42 工業部卒 日置靖男)

支部同窓会

滋賀支部

通常総会 開催

平成30年6月16日(土)湖風会館で70余名の出席により通常総会を開催しました。

総会に先立ち、特別講演として当大学の廣川学長に「滋賀県立大学の過去・現在・未来」をテーマにご講演頂きました。



その後、総会では各議案も拍手で承認され、懇親会へと移りました。夫々滞りなく盛会に行われました。

#### 評議員の更新促進

支部評議員は学科クラス毎に約500名の方にお願ひしております。諸事情によりご協力いただけない方、同窓会活動に興味のない方に、無理にお願ひしてもご迷惑になりますので、新たに、関心のある方を探しております。自薦、他薦を問わず、ご協力頂ける方はお申し出下さい。  
会員相互の親睦促進

#### 「記念クラス会のすすめ」

卒業10周年・20周年・30周年・還暦・古希に当たるクラスの評議員にクラス会の開催を依頼しております。お陰様で開催数も年々多くなっております。

(昭40 工業部卒 松下恭明)

#### 東海支部

##### 支部総会の開催

令和元年の東海支部総会は5月19日(日)に開催しました。総会後の講演会は、人間文化学部生活栄養学科の准教授 奥村万寿美先生をお迎えして「生活習慣病の予防から介護予防へのギアチェンジ」と題し、講演をお聞きし、健康人生を過ごすための注意等について考える機会となりました。

又、講演後に先生を交えて座談会



を催し、健康とか近況とか皆で話し合い意義あるひと時を過ごしました。地域支部の今後の課題として県大卒業生の会員が大幅に増えるなか幅広い年齢層、いろんな分野にて活躍されている方々と交流の出来る事が楽しみにあります。支部総会に合わせてクラス会、ゼミ会など開催され旧交を温めて頂く機会にして下さい。お手伝い出来る事があればご連絡

お願いします。

尚毎年5月の後半の土曜日もしくは日曜日の午後、総会、講演会、懇談会を開催しています。又支部役員も募集しておりますので名乗り上げて下さい。

(昭42 工業部卒 日置靖男)

#### 近畿支部

滋賀県を除く近畿2府3県に在住又は勤務の方々に構成され、会員約6,000名、県大出身会員が半数以上となっております。

年約4回の役員会、「忘年会」、「趣味を中心とした同好会」の開催で各学部、会員間の親睦を図る活動を続けています。

#### 第3回近畿支部総会

平成29年11月19日、来賓に「湖風会」矢吹会長をお招きし、大阪梅田ハービスPLAZAにて、開催いたしました。

この総会で近畿支部、川崎眞治初代支部長から、寺脇文子が2代目支部長として承認を頂きました。

次回総会は令和2年11月開催を予定しておりますので、多くの皆様にご参加戴き、各学部が一つとなり交流と親睦の場を持ちたいと存じます。「湖風会・近畿支部」ホームページに掲載いたしますので、ご覧いただきます様お願い申し上げます。

(昭45 農業部卒 寺脇文子)



#### 工学部支部

湖風会工学部支部同窓会として、「工学部学友会」が発足して8年、その前身の「彦機会会から22年」が経過し、お蔭様で充実した支部同窓会活動が継続出来ています。

湖風会報第六号以降の主な活動内容を紹介しますと、2018年11



堀場製作所見学時の集合写真

月17日滋賀県立大学の「湖風祭」に合わせ、大学構内において「工学部学友会」第4回総会を90名が出席して盛大に開催しました。記念講演は(株)エンジニア代表取締役社長の高崎充弘氏に「モノづくり企業に必要な4つの秘訣」について実体験に基づく貴重な話を聞くことが出来ました。

毎年大学工学部の支援活動として実施している、2019年の企業訪問は大津市の(株)堀場製作所様のご協力の下、工学部学生51名、先生2名・学友会11名、湖風会2名が参加してびわこ工場の見学を実施しました。堀場製作所入社の県大(院)卒の先

輩3名から、後輩の学生諸君へ就職活動への心構えや、在学中の経験談など親切なおアドバイスがありました。

一方会員相互の親睦活動を担う同好会活動も、ゴルフ同好会(年2回開催)・ウォーキング&小旅行(長浜黒壁スクエアと長浜城行き)・カラオケ愛好会(年1回開催)・フォト同好会(京都御苑の仙洞御所・京都御所めぐり開催)など活発です。

これらの活動内容は工学部学友会HPに掲載されていますから是非ご覧になって下さい。

(昭36 工業部卒 国領朝輝)

**環境科学部支部**

大学の発展の一端に寄与することと会員相互の連携を深めようと、湖風会環境科学部支部が平成27年6月に発足して早4年が過ぎました。この間、支部の愛称を「環友会」(「環境」(環境科学、農業、建築の共通基盤である「環境」という「環」(わ)のもとに集う)とし、短大農業部、短大建築学科、県立大学環境科学部の卒業生が毎年開催する総会や交流会を通じ、年代を越えた交流を年々深めてまいりました。

**第5回支部総会を開催**

今年度は、第5回総会を6月15日(土)に湖風会館において井手環境科学部学部長を来賓にお迎えして会員42名出席のもと開催し、平成30年度



事業・収支決算報告、令和元年度事業計画・収支予算を承認いただいたほか、任期満了に伴う新たな役員体制(令和元年度〜2年度)が承認されました。

総会終了後に湖風会定期総会(本部)および特別講演が開催された後、人間看護学部カフェテリア「ナシエリア」にて60名余りの参加のもと懇親会が開かれました。

**現役学生向け就活セミナー開催予定**

今年度は支部設立5年目を迎え、現役学生が様々な職場で中堅として

働く先輩から仕事や生活などの話を聞くことにより、仕事や就職先を選ぶ上での視野を広げていくことを目的に、現役学生向け「充実したワークライフのための就活セミナー」を県立大学湖風祭の開催に合わせて11月9日に開催することといたしました。支部HPをご覧ください

環境科学部支部では、平成28年10月に湖風会HPのランチから独立した新たな環境科学部支部HPを開設し、支部設立の経緯や総会資料、役員名簿などを掲載しております。今後は支部活動の様子など随時掲載していきたいと思っております。

(昭49 農業部卒 田中靖志)

**人間文化学部支部**

約9,000人が所属する人間文化学部支部は、約80人の評議員の方により運営されています。評議員のうち20人が理事として定期的に理事会を開催し、活発な意見交換を続けながら支部活動の具体的な検討をおこなっています。

**湖風祭への参加**

2018年11月には県立大学で開催されている湖風祭に、支部活動として参加しました。同窓生のみならずが学生時代に学ばれたこと、卒業後に身に付けられたことを生かして、子ども・親子に楽しんでもらえる体験イベントを開催。同窓会の存在



を地域の方に広く知ってもらうこと、同窓生と現役学生が交流することを目的に、紙芝居・折り紙・抹茶体験などをおこない、2日間で100人以上の来場者に参加していただきました。

**支部総会**

2019年7月には第3回となる総会を開催し、新しく3名の方に理事に就任していただきました。総会後には、同窓生であり短期大学で教えておられた大辻房枝先生に、短大時代の思い出や同窓会の歴史についてご講演いただきました。大辻先生には、普段から本支部の顧問として理事会にもご参加いただき、支部へ

のご助言をいただいています。講演の後には短期大学の学歌を歌い、同窓生の交流の場となりました。

このように支部活動が継続できているのは、評議員・理事の皆様のご尽力によるものです。会員の皆様からぜひ同窓会へのご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

(平14 人間文化学部卒 戸田雄二)

**人間看護学部支部  
「湖畔の会」**

「湖畔の会」は、平成30年3月3日(土)に45人の出席を得て第2回支部総会・同窓会を開催致しました。



「湖畔の会」のみでの活動はなかなかできませんが、本部「湖風会」と共に活動をしています。

「湖畔の会」のホームページを通じて会員の皆さんと交流ができたと思います。一度覗いてみてください。ご投稿がありましたら湖風会本部までご連絡ください。

今は来年7月の総会・同窓会に向けて準備を進めています。

通知については、すべての方に連絡することができません。しかし、多くの会員さんに出席していただきたく思います。この会報を見ての申し込み・お問い合わせについては、4月末までに「湖風会」本部へ、氏名・住所・連絡先(必ず連絡が取れる携帯番号等)をお知らせ願います。今後とも「湖畔の会」活動へご支援よろしくお願い致します。

**「湖畔の会」総会のご案内**

- 一日 時 令和2年7月4日(土) 10時
- 二、場所 滋賀県立大学同窓会「湖風会館」
- 三、懇親会 看護学部内「ナシエリア」にて
- 会費 5,000円程度

(昭48 看護部卒 中川富美江)

**クラス会**

**S26 繊維工業科卒 クラス会**

- ◆開催月日 2018年(平成30年)4月10日(火)・11日(水)
- ◆会場 近江八幡のホテル
- ◆参加者 8名
- ◆内容 懇親会

**米寿(88歳)を迎えた同窓会**

昭和26年に卒業した彦根工専(第3回卒業生)の繊維工業科同窓会を近江八幡のホテルで開催しました。翌日、八幡山ロープウェイと登山で山頂の展望台まで全員到着し、琵琶湖、西の湖、城下町を見渡しました。千年以上の歴史のある日牟禮八幡宮を参拝し、八幡堀を見学、お抹茶とお



2018.04/10

菓子を頂きました。  
数多き思い出を語り合う楽しい2日でした。

**H8家政食物学科卒 クラス会**

◆開催月日 2019年(令和元年) 6月22日(土)

◆会場 京都 膳處漢ぼつちり

◆参加者 10名 恩師 1名

◆内容 懇親会

「コスモス会」と名前を付けて毎年11月定例開催していたクラス会ですが、イベントの多い11月は出席が難しいとの声もあり、今年は時期を変え6月に開催してみました。そのおかげもあってか十数年ぶりという参加者もあり、懐かしくおしゃべりして過ごしました。



今年も恩師大辻先生にはお元気でおいでいただき、変わらず多彩な活動のお話を伺ったり、思い出話や近況報告で元気をもらって帰宅しました。

**S39家政被服科卒 クラス会**

◆開催月日 2018年(平成30年) 5月27日(日)

◆会場 RiseVillie 都賀山

◆参加者 14名

◆内容 懇親会

この「39華の会」は、基本的に母の日にちなんで5月の最終日曜日に、2年に1回開催しております。今回は第17回目となりました。

この日は参加者14名。そのうち2名が誕生日で、いよいよ後期高齢者の仲間入りとなります。この記念すべき日をハッピーバースデーを歌って、祝福しました。

参加者のなかには、卓球、ゴルフ、登山、真向法、太極拳など有酸素運動を長きにわたって続けておられる人も多く、皆さん脚力は衰えていないようです。

皆で歌をうたったりして楽しく過ごしましたが、圧巻は、栗東迷術会(マジックの会)で活動している幹事の一人のマジックの披露でした。紙切れが、千円札に変身するものもあり、次回は千円札を一万円札に変身するマジックを練習しておいてねと



お願いしている人がいました。

卒業して以来必ず、毎回、手作りの洋服で参加してくださる被服科卒の鑑のような人もいます。

3時間ほどの集いでしたが、とても楽しい出合いのひとときでした。

次回は、2年後に京都(京都大阪方面在住者が幹事)で出合いましょうと約束して散会しました。

**S55看護学科卒 クラス会**

◆開催月日 2019年(令和元年) 6月22日(土)・23日(日)

◆会場 大津市 湯の宿「木もれび」

◆参加者 12名

◆内容 懇親会



歳月の流れるのは早いもので、昭和55年卒業後、もう39年が経ちました。クラス会は1回を除き毎年行ってきたので今回で38回目となります。

それぞれに忙しい時期は日帰りの企画でしたが、8年前からは大津市の湯の宿「木もれび」で宿泊開催しています。

今回は近江牛のすき焼きとステーキを堪能し、隣接の「湯元館」で温泉を楽しみ日ごろの疲れを癒しました。決まって参加するメンバーはやや固定化されていますが、時折久しぶりの友も参加して頂きます。皆、会えば学生時代に戻り、色々な話題で盛り上がり、年齢も忘れて夜遅くまで

飽きることを知りません。

来年は同期生の殆どが定年退職を迎えますので、参加メンバーが増えることを期待しつつ、「第2の人生に向けた新たな報告ができるね。」と話しながら散会しました。

素晴らしい同期生に恵まれ、開催日と開催場所を固定して来たので、これまで継続できたと思います。

今回は2020年6月27～28日開催予定です。

#### H6 農業部農学科卒 クラス会

◆開催月日 2019年(令和元年)

6月15日(土)

◆会場

彦根 ごきげんえびす

◆参加者

8名 恩師 3名

◆内容 懇親会

昨年のクラス会で案内したとおり、6月15日の県大の夏祭にあわせて開催しますとの案内したところ、兵庫、滋賀から8名の仲間が集まりました。当日、参加できなかった仲間や先生方からもたくさん連絡が届き、近況や元気な様子で写った写真が返ってきました(アルバムにしていますので、気になる人はクラス会に参加してください。3回分あります)。また、クラス会を3年連続で行った結果、いままです住所不明であった仲間の住所も徐々にわかるようになってきました。

今回は、県大の夏祭りも見つつ、環



境科学支部(環友会)や湖風会の総会に出席し、特別講演も受講、さらに、夕方に彦根駅前懇親会を行うという豪華企画でした。昼前から参加された方々は、夕方の懇親会を開始するころには、少々お疲れ状態でしたが、会が始まってしまえば、疲れが消し飛んだかのように会話に夢中でした。

昼間に県大に行ったこともあり、息子や娘の大学受験の話も飛び交い、一般入試、推薦入試の状況やどうしたら県大に入学できるのか、先生から最良の策を聞きだそうとしている輩もいました。

また、さすが農学卒、学生時代に培った素材の善し悪しのわかる舌で、メイン料理の鍋がとてヘルシーなので、アルバイト店員に鍋の出汁に

ついて尋ねたところ、店員が「ホルモン鍋です。ホルモン味です!!」との回答、この時はじめてホルモンが入っていないことがわかり、みんなで大笑いしました。

素材の味で思い出すのが、学生実習で作った豆腐がとておいしくて、もう一度あの豆腐が食べたいなどの話もあり、あつという間の2時間半でした。

最後に、次回クラス会を令和2年10月24日に行うことを決めて会は終了しました。

#### 県大ニュース

##### 〇SDGsの達成に向けた取組を推

進んでいます

本学は、SDGsの達成に向けた取組の推進拠点となることを目指し、平成30年6月に学長と学生が共同で「滋賀県立大学SDGs宣言」を行いました。また、令和元年6月には、教育、研究、地域貢献の各分野にわたる全学的な取組を推進するための「滋賀県立大学SDGs取組方針」を制定しました。SDGsの達成に向けた取組を推進するため数々の事業に取り組みんでいます。

##### ① キャンパスSDGsびわ湖大会

平成31年3月には、「SDGs学生大会」びわ湖で考えるSDGs」を359名の参加のもとで実施し、令和



元年11月にはその規模を拡大して「キャンパスSDGsびわ湖大会」を開催しました。

##### ② 近江楽座(Eプロジェクト)

本学独自の学生主体の地域貢献活動である「近江楽座」においてSDGs推進枠(Eプロジェクト)を設け、関連するプロジェクトを支援しています。

##### ③ 集中講義「SDGsと滋賀のグロ

ーカライノベーションー近江の暮らしとなりわいー」  
環びわ湖大学・地域コンソーシア

ムの単位互換科目として県内の大学生がSDGsを学ぶ集中プログラム「SDGsと滋賀のグローバルイノベーション」近江の暮らしとなりわい」を本学の提供により実施しています。

④SDGsシネマ

映画を通じてSDGsに係る理解を深め、参加者同士で交流する「SDGsシネマ」を毎月1回実施しています。

⑤SDGs特化型地域課題研究

SDGsの視点に基づく地域課題の解決に向けた研究に取り組み地域と連携した研究成果を発信する「SDGs特化型地域課題研究」を実施しています。

⑥SDGs出前講座等

地方自治体、企業等のSDGsの取組の普及、拡大を支援するため出前講座等を実施しています。

※SDGs《Sustainable Development Goals》(持続可能な開発目標)は、平成27年9月の国連サミットで採択された国際目標で、滋賀県においても様々な取組が進められています。

○滋賀県立大学公式ミュージックビデオ「カモベイバー」を公開しました

滋賀県立大学のキャンパスを舞台に、卒業生が中心となって、大学の魅力を発信するミュージックビデオを制作

作してくれました。

出演は在学生。楽曲は今勢いによる滋賀県出身のロックバンド「シナリオアート」による書き下ろし。メンバーのヤマシタタカヒサさんは本学の卒業生であることから、大学時代によく見かけたカモにちなんだ「カモベイバー」を制作してくれました。

ミュージックビデオでは「恋がはじまるカモ」のどかカモ」駅から徒歩1時間カモ」と、本学ならではの大学生活をカモにちなんでチャタリングに表現されています。

こんな個性豊かな大学が滋賀にあるのか、と多くの方に興味を持っていただけたらと願っています。

合言葉は「#県大生の力で滋賀県立大学をもっとメジャーに」です。卒業生の皆さん、ぜひシェアをお願いいたします。



カモベイバー  
ミュージックビデオの視聴はこちら



事務局からのお知らせ

以下の事項については既に詳細をHPに掲載しております。是非HPをご覧ください。是非HP

ホームページの開設

滋賀県立大学同窓会「湖風会」



http://kofuukai-usp.jp  
本部「湖風会」

滋賀県立大学生涯メールサー  
ビスについて

卒業生の皆さんと本学が直接情報交換や連携が出来るよう、生涯利用可能なメールアドレスを発行しサービスを開始しました。社会的に信頼性があるため、セキュリティの高い機関にもメールアドレスの登録が可能です。

同好会にも助成金が出ます

会則に合致した一定規模以上の同好会にも、クラス会同様の助成金が出るようになります。

湖風会会費納入のお願い

県立大学が開学されて25回目の新入学生を迎えましたが、湖風会費未納入の方が約3,000名居られます。今回この方々には、会費納入依頼の文章と振込用紙を同封させて頂きましたので、是非ご協力お願い致します。

- ・工学部支部
- ・「工学部学友会」
- ・人間文化学部支部
- ・人間看護学部支部
- ・「湖畔の会」
- ・近畿支部
- ・東海支部
- ・環境科学部支部
- ・「環友会」
- ・滋賀支部
- ・風会「から入れます」

事務局連絡先 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500 湖風会 事務局  
Tel. 0749-28-4400 Fax.0749-28-4400  
E-mailアドレス s.kendai4400@kofuukai.jp ホームページ(HP)アドレス http://kofuukai-usp.jp/  
発行責任者 矢吹 安子

